

## 当事者団体連絡会報告 2010年8月~9月

## 相談支援事業 について

意 見	課 題
<p>1、委託先が法人である。</p> <p>2、事業所の所在地が市内の端に偏っている。</p> <p>3、総合福祉センター内での相談支援事業は、常時相談できる専用の部屋が確保されていない。</p> <p>4、法人職員が相談員だと相談に行きにくい。その法人の他のサービスを利用している人にとって、困りごとなどが事業所に伝わることを嫌がる人がいる。</p> <p>5. 相談員の交代が多く困っている。</p> <p>6、当事者団体の会員は相談支援事業所をあまり利用していない。</p> <p>7、相談員の話聞く態度や言葉遣いなど相談者の気持ちに沿ってほしい。</p> <p>8、相談のための予約（あるいは予約ための予約）をしないといけないことがあった。</p>	<p>1、事業所は障がい当事者にとって中立の立場が保たれることを視野に入れての委託</p> <p>2、相談をする(受ける)環境について早急に検討する必要</p> <p>3、誰もが行きやすい事業所の場所</p> <p>4、相談支援事業の周知</p> <p>5、相談支援事業の質の向上</p>

## その他

- 1、支援センターあっとわんの情報が4団体からは聞かれなかった。

当事者団体について

	団体の状況	課題
身体障害者福祉協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>1、会員が少なく、なかなか増えない。</li> <li>2、障がい者雇用の促進、安定、情報開示が会の目標。</li> <li>3、相談支援等を知らない人がいる。</li> <li>4、障がいの重い人が多く、行事に参加できない人が多い。</li> <li>5、駅周辺に障がい者専用の駐車場の増設やガソリン券の増量の必要を感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1、協会の存在PRの不足。</li> <li>2、広報誌などへの掲載、行政の協力が必要。</li> <li>3、情報が届いていない人が多い</li> <li>4、外出時の援助の不足</li> </ul>
父母の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>1、重度重複者が多い。</li> <li>2、日中活動の場が少ない（市外への通所者有）</li> <li>3、将来の不安が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1、卒業後の日中活動の場所</li> <li>2、将来の地域での生活（ケアホーム等）</li> </ul>
育成会	<ul style="list-style-type: none"> <li>1、若い世代の会員が少なく、逆に高齢の世帯が多い。</li> <li>2、将来地域で暮らせるか不安が大きい。</li> <li>3、福祉サービスの充実を望む声が強い。</li> <li>4、障がいの重い人が福祉サービスを使えないことが起きている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1、若い世代への会のPRの必要</li> <li>2、日中活動と生活の場での支援の連携</li> <li>3、障がいの重い人がサービスを利用できないケースの検討</li> </ul>
むつみ会	<ul style="list-style-type: none"> <li>1、本人が気軽にいつでも集える場がない。</li> <li>2、「ふらっと」（会独自の活動）の継続・維持が困難。</li> <li>3、退院促進の支援が充実していない。</li> <li>4、年金以外の収入が見込めず一般通院医療費が負担になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1、地域活動支援センターやサロンの場</li> <li>2、相談支援事業所だけでなく必要な機関の協力が必要</li> <li>3、医療費の助成に関して他の障がいとの格差がある</li> </ul>